

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や検査結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや検査結果を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 を用いた詳細成分の解析に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 金並真吾（検査部 主任臨床検査技師）

### 【研究の目的】

愛媛大学医学部附属病院を2020年2月以降に受診し、尿沈渣検査がオーダーされた患者のUF-5000測定データおよび鏡検データを取得します。そのうえで、UF-5000と鏡検で乖離した検体やUF-5000で測定項目となっていない成分が検出された検体について、スキヤッタグラムの画像やその他の測定項目との関連性を確認する研究をおこなうことといたしました。

この研究は装置による測定に続く目視鏡検の精度向上につながる可能性があるため、尿検査を用いた患者スクリーニングの質が向上すると考えられています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2020年2月以降2026年3月までに愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち尿沈渣検査を実施された患者さん

（検討内容）

UF-5000測定データおよび鏡検データを比較します。そのうえで、UF-5000と鏡検で乖離した検体やUF-5000で測定項目となっていない成分が検出された検体の臨床情報を含めて解析を行う。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、尿検査データ、画像検査データ、細菌検査データ、治療状況 等

**【共同研究について】**

この研究は、シスメックス株式会社と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、保存した電子ファイルを郵送することによってシスメックス株式会社へ送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院検査部 金並真吾

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院検査部 金並真吾

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5620